



前津江

Maetsue



元気・癒しの杉の木

旧柚木小学校横にある柚木老松天満社の境内にそびえる巨大な杉の木。この杉の木は「門杉」と呼ばれ、樹齢約600年で幹周は約6mもある。空を覆いつくすように茂る枝葉に圧倒され、幹に触れるとごつごつした樹皮の手触りに、確かな生命力を感じることができる。ここは、壮大な大杉に見守られ心安げられる場所となっている。



真っ白な世界が広がる釈迦岳

2月18日、今季一番の寒気が流れ込み前津江は雪で覆われた。そんな中、標高1,231mの釈迦岳には息を飲むほど美しい真っ白な世界が広がっていた。雪は木々の枝に樹氷のように張り付き、幻想的で静かにたたずむアート作品を作り出していた。時折、鹿やウサギの足跡も見かけられ、奥日田ならではの静かで美しい自然が体感できる。

中津江

Nakatsue



おすそわけ野菜が大変身

2月4日、NPOつえ絆くらぶが地元で採れる野菜を利用した昼食会を、大山町にあるレストラン松原の協力のもと開催した。7年前から中津江村等で採れた野菜を「おすそわけ野菜料理」として提供している。今年で2回目となった昼食会には生産者28人が参加し、レストランの人々と交流しながら、出荷した野菜を使ったおいしい料理に舌鼓を打った。



ガブっ！と恵方巻

2月3日、なかつえ保育園では節分の日にちなみ、園児たちが豆まきで鬼退治をした後、恵方巻を手作りした。園児たちは今年の吉方となる西南西に向かって着席。大きく口を開け、準備した恵方巻を思いきり頬張り、おいしそうに黙々と食べていた。それでも、お互いに顔を見ながら笑みがこぼれる楽しい時間となった。



日田

まちの話題

Hita



ムエタイ 片島聡志選手 世界王者獲得！

昨年12月1日に東京で行われた世界タイトル戦に勝利し、世界プロムエタイ連盟スーパーフライ級世界王者に輝いた、豆田町出身の片島聡志選手がチャンピオンベルトを携えて2月13日に市長報告を行った。片島選手は「今後は王座防衛と他団体のベルトを狙っていく。また体験教室を開くなどしてムエタイの普及にも取り組みたい」と意気込みを語った。



日田の杉や森林で新たなチャレンジ！

「ウッドデザイン賞2019」で最優秀賞・特別賞をダブル受賞した田島山業(株)と共に特別賞を受賞した地域協力者が、1月30日に市長報告を行った。5回目の開催となる今回は413点の応募があり、日田の杉を使い日本初となる中高層木造ハイブリッド建築の実現や森林の中でウェディングを実施した取り組みが評価され、今回の受賞に結び付いた。



おいしいジビエで みんな笑顔に

2月21日、市内の小・中学校や特別支援学校でジビエ料理が給食メニューとして提供された。このメニューは、昨年11月開催の第3回高校生「ひたジビエレシピグランプリ」でグランプリを受賞した昭和学園高校3年生チームのハヤシライスで、シカ肉や日田産の梨が使われている。ほのかに柚子の香りがする甘いハヤシライスは、子供たちに好評だった。



昭和学園高校バトン部全国大会最優秀賞

2月2日に幕張メッセで行われた「第3回カラーガード・マーチングパーカッション全国大会」で3年連続金賞、さらに全国1位である最優秀賞を受賞した昭和学園高校バトン部が、2月18日に市長報告を行った。部長の宮崎さんは「みんなを引っ張れたかは分からないが、結果が出て良かった。関係者の皆さんに感謝したい」と笑顔で語った。